

あこがれのたより

9月 

発行責任者 原田尚之

【校長室より】

『体育祭・五高祭を終えて』

校長 原田 尚之

今年の体育祭のテーマは「^{しょうり}翔麗 ～奮起せよ 三種の華～」と定め、「チーム赤団、チーム黄団、チーム青団のそれぞれの華を咲かせ、チーム五高生として体育祭を盛り上げよう！」という生徒たちの熱い思いで実施しました。

五高祭のテーマは「道」。過去があるから現在がある。そしてこれから進む道は自分たちで作っていかなければならない。個人の、仲間との、五島高校の「道」を考えてほしいという実行委員の思いが込められていました。

若者らしい創意工夫と弾けんばかりのエネルギーが両行事に注ぎ込まれ、相手を思いやる観戦（鑑賞）態度には、さすが五島高校生だというのが私の率直な感想です。また、来賓の方々からも大変高い評価をいただきました。

特に、この体育祭や五高祭を企画運営してくれた実行委員の皆さんの活躍は目を見張るものがありました。お陰で立派な体育祭・五高祭ができあがったと思います。何か行事があるとき、縁の下で支える実行委員のような人が必ず存在することを、そしてその方々に感謝することを我々は忘れてはいけません。

また、体育祭における各団の団長や五高祭における各クラスの責任者は、リーダーとして様々な事を学んだと思います。このような行事は、リーダーとそれをサポートする人の思いが一つにならないと成功しません。強いリーダーシップと共に相手を思いやる気持ちが不可欠です。是非ここで学んだことを今後に活かしてもらいたいと思います。

これで秋の大きな行事である体育祭と五高祭が終わりました。この2つの行事を通して、生徒たちが得たものは勉強や部活動では得られない大変貴重なものだと思います。

五高祭を節目に学校は次の段階に入ります。勉強の秋、スポーツの秋、読書の秋などと言われるように、秋は何をするにも適した季節です。3年生はもちろん1、2年生も一人一人が高い目標を持って、やるべきことに全力で頑張れるよう、職員一同、一所懸命サポートしていきたいと思います。

最後になりましたが、PTAの保護者の方々には、リサイクルバザー、ドリンク販売、カレーやうどんの食物バザーに協力をいただき、誠にありがとうございました。約80名の保護者の方に協力を得て、お陰様で充実した素晴らしい体育祭・五高祭を行うことができました。改めて深く感謝申し上げます。



第65回体育祭 6日(火)

平成28年9月6日(火)、第65回五島高校体育祭が本校第2グラウンドにおいて開催されました。台風の影響で順延日程での開催となりましたが、多くのご来賓・保護者の方々にお越しいただき、温かいご声援をいただきました。



運営では3年生の実行委員が中心となり準備を進め、当日は部活動を中心に係生徒も積極的に活動してくれたおかげで、スムーズに運営することができました。生徒が創り上げる、生徒が主役の体育祭にすることができたのではないかと思います。この経験を体育祭のみで終わらせることなく、ぜひ今後の生活に活かしてほしいと思います。



体育祭実行委員長 3年5組 平山 未祐

体育祭お疲れ様でした。今回の体育祭が、皆さんにとって少しでも価値ある経験となっていれば幸いです。1、2年生の皆さん、最後まで3年生についてきてくれてありがとうございました。3年生はこの期間、おそらく仲間同士での衝突も多く、心痛むことも少なくなかったと思います。それでも最後までやり切り、支えあい、全員で1つになり、頑張れることの大切さや喜びを感じられたはずです。私も、たくさんの人の支えがあって実行委員長を最後まで務めることができました。本当に感謝しています。

皆さんにとっても、周りにいる多くの人の素敵な所に気付けた、とても良い経験となったと思います。



赤団団長 3年1組 今村 拓

今回の体育祭を通して、つながることの大切さを学ぶことができました。赤団として1、2、3年生の縦のつながり、そして、学年での横のつながりがあるからこそ素晴らしい体育祭になったと感じます。そして、ここで築き上げたつながりはこれからも様々な場面で生きてくると思います。3年生は受験、1、2年生は部活などで「つながり」は良い影響を与えてくれるものだと思います。団長としては、先生方からのアドバイスや、3年生の協力があったおかげでなんとかやり遂げられたという気持ちです。本当にありがとうございました。来年の体育祭がより良いものとなることを期待しています。



黄団団長 3年5組 野口 太聖

今回の体育祭は私が経験した中で最高のものとなりました。皆さんの協力があったからこそ成功です。私が団長として活動できたのは、皆さんの支えがあったからです。本当に感謝しています。

1、2年生の皆さん、いろいろと不安定だった3年生についてきてくれて、ありがとうございました。3年生の皆さんも、最後の体育祭を最高にするための「全力の協力」、ありがとうございました。今回の体育祭を通し、各々が自分や友人、周りにいる人たちの長所を見つけ、仲間どうしで支えあい、素晴らしいものを創り上げる喜びを感じられたことでしょう。これから歩むべき道は各々違うとは思いますが、この経験を生かし、五高生として一致団結し頑張っていきましょう。

青団団長 3年4組 平道 元喜

今回の体育祭を終えて、まず私の頭の中に浮かんできた言葉は「ありがとう」の一言でした。型と一緒に踊ってくれた1、2年生の仲間、私をいつも笑顔で支えてくれた3年生の仲間、そして、体育祭を開催して下さった先生方、保護者、地域の方々へ向けた多くの感謝が詰まった一言でした。私自身、高校生になって、初めて多くの人をまとめるということを経験させていただきましたが、正直、こんなにも大変な事とは思っていませんでした。しかし、大変だった分、最後は、今までで一番楽しいと思える時間をみんなで過ごすことが出来ました。蒼団で本当に良かったと思っています。

私たち3年生は、体育祭が終わった瞬間から、受験モードに切り替わりました。体育祭を成功させたように、受験も全員で一丸になって成功させましょう。



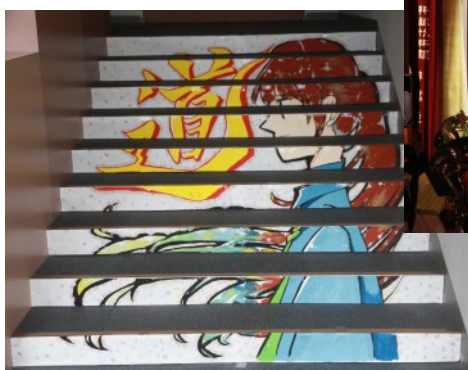
五高祭 9月10日（土）、11日（日）

今年度の五高祭のテーマは『道』でした。「過去があるから現在（いま）がある。そしてこれから進む道は自分たちで作っていかねばならない。個人の、仲間との、五島高校の『道』を考えてほしい。」という想いが込められていました。

プレオープニングセレモニーでは、青春（アオハル）動画→3年生作成のモザイクアートの発表を行いました。オープニングセレモニー、そしてエンディングセレモニー（グランドフィナーレ）では、演劇を通してハルが『自分の道』を見つけ出す過程を表現しました。最後には実行委員が『道』に込めた思いを語り五高祭を締めくくりました。

保護者の皆様にはバザーへの協力で大変お世話になりました。また、ご来場いただいた皆様にも、残暑厳しい中にご参観いただき心から感謝しています。

今後も「五高祭」が五高生にとって文化を考え、文化を表現できるステージとなるよう、教職員生徒一同、努力を重ねていきたいと願っています。今後とも、五高祭、そして本校生徒会へのご協力、よろしくお願いいたします。



五高祭実行委員長 2年5組 戸野本寧葉

「実行委員長してくれん？」という友達の言葉がきっかけでした。毎日のように忙しい準備期間が始まり、テーマ発表・プレオープン・一般公開の全てを不安が残るまま迎えました。まともに寝ることができない日々が続く中でも、先生方を含め実行委員一人一人が五高祭を成功させるために全力を尽くしてくださり、本当にありがとうございました。五高祭を迎えるまでの実行委員と歩んだ『道』は、私にとって大きな財産となりました。

今回五高祭を運営するにあたり、先生方、保護者、地域の方々には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

3年生の皆さんを始め、全校生徒の皆さんのおかげで盛大な五高祭になりました。ありがとうございました。



天下一武道会優勝者 2年5組 北川将大



僕が天下一武道会に出場するきっかけは、担任の先生からの推薦でした。当初は乗り気ではありませんでしたが、日が近づくにつれ、「やるからには優勝したい」と思うようになり、時間を見つけては例文を読んで暗記しました。そのときに、僕は、何気なく過ごしている一日も、意識して過ごせばかなりの「隙間時間」があることに気づきました。今後の勉強にも活用していきたいと思えます。今年の優勝で来年はシードとして出場できるということなので、来年も優勝目指して全力で挑みたいと思います。

体育祭後の学年集会

3学年主任 瀧上 透

今年度は雨天順延により、9月6日（火）に体育祭が行われました。平日開催にもかかわらず、たくさんの方に足を運んでいただき、無事に体育祭を終えることができました。生徒達も練習の成果を十分に発揮し、素晴らしい体育祭をお見せすることができたのではないかと思います。そして、9月7日（水）の1・2時間目に学年集会を行いました。昨年同様に北九州予備校の大山純治様を迎え、「合格の秘訣」という演題で講演をしていただきました。以下講演の要点をまとめます。

- ①「不合格」生徒に共通すること
- ②今後の生活で大切な3つのポイント
- ③受験勉強において大切な3つのポイント

詳しい資料に加えて、話のわかりやすさ、おもしろさに生徒達もぐいぐい引き込まれたようです。②③に関しては、すぐに実践できる内容のものばかりでした。今回の講演で、卒業までの残された日々を、進路実現に向けて脇目も振らず突き進むことが大切であるということを再認識できたと思います。体育祭団長3名からはそれぞれ今後の決意表明がありました。同じ志を持った仲間達の言葉は、生徒一人ひとりの心に染み渡ったようです。学年スローガンである「One for All, All for One」を胸に、この3年間で成長を遂げた個々の力を、体育祭で見せた団結力へと転化させ、青の学年全員が進路目標を達成することを信じています。

五高祭・体育祭 バザー協力のお礼

9月6日の体育祭において飲料バザーを、9月11日の五高祭において食物・飲料・リサイクルバザーを実施しました。当日はご多忙の中、PTA総務委員を中心に、延べ73名近くの保護者の方々に調理・販売のお手伝いをいただきました。また、リサイクルバザーの物品提供や準備に関しましても、たくさん保護者の皆様の御協力をいただきました。今回のバザーの収益につきましては、体育祭・五高祭のうち作成費や1月に予定されているマラソン大会での豚汁炊き出し等の費用として、生徒に還元していきたいと思っております。ご協力ありがとうございました！

親子ふれあい活動（8月23日、24日、25日）

五島市在住の乳幼児親子に高校へ来ていただき、乳幼児親子と生徒がふれあいの時間を持つ取り組みです。事前に赤ちゃん人形での抱っこの練習、手作りおもちゃの製作を行い、実施しました。

日 時	クラス
8月23日（火）3校時	1-5
〃 4校時	1-6
8月24日（水）3校時	1-4
〃 4校時	1-2
8月25日（木）3校時	1-1
〃 4校時	1-3

今回の体験を終えたあとの生徒の感想です。

この体験を通して、「育児の大変さ」について学ぶことができました。話のなかで「夜泣きを30分置きにする日がある」や「毎回別に離乳食を作らなければいけないこと」、「歩き始めると、どこへ行くかわからないから、常に目を離せない」などを聞き、自分が将来子育てできるか不安になりましたが、子どもと接しながら一緒に成長していきたいと感じました。いままで育ててくれた両親に家に帰ったら「ありがとう」と伝えたいと思いました。授業でも習いましたが、同じ年齢でも、体重や体の大きさが違い、個人差があることが目でみてわかりました。絵本の読み聞かせをされていて、最初はちょっと距離があったが、最後はひざの上に乗ってくれてとてもうれしかったです。

質問した中で一番心に残ったのが、「名前は人生で最初のプレゼントだからいいものをあげたい（つけてあげたい）」という言葉でした。自分の名前を大切にしたいと思いました。「同じ10kgでもお米1袋と命の重さは全然違う」という言葉に感動しました。お腹を痛めて産んだ子どもの命は何にも例えられない重さなんだと強く感じました。

普段乳幼児親子と交流する機会も少ないため、生徒たちにとってとても貴重な時間を過ごすことができました。実施にあたり、親子募集の声かけから、参加いただいた親子まで、たくさんの方々にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

